

四十三球目



新型コロナウイルス感染拡大について
愛知県緊急事態宣言の解除から1か月



知事 岸田 茂夫

5月25日に県の緊急事態宣言が全面解除となつてからほぼひと月が経ちました。新型コロナウイルスの感染が一定の範囲内に収まり、社会全体が感染拡大防止と経済活動の両立を目指して、再び動き出すところまで漕ぎつけられたのは、外出自粛や休業要請にご協力いただきました市民のみなさまのご尽力によるもので、心より感謝申し上げます。

6月17日現在、愛知県における新型コロナウイルスの感染者数は新規の感染者数ゼロの日が続き、時折、僅かに感染者が出ている状況です。増え続ける感染者の数に不安を感じていた4月頃のことを思えば、少しホッとしているところですが、一方で、感染拡大の第2波に備えて気を引き締めていかなければという気持ちもあります。市民のみなさまには、近場の移動を控えていただく必要はありませんが、遠方へのお出かけについては、引き続き、感染拡大を防ぐためにできる限り控えていただきますようお願いいたします。

コロナウイルスを意識して、これまでとは違った生活が続ける中、コロナとカラダの健康維持が非常に難しくなっていると感じます。非常事態宣言が解除されて、散歩したり、屋外で体を動かしたりすることはできるようなりましたが、全てが以前の状態に戻ったわけではありません。春先から続けてきた自粛によるストレスや人が集まる場所での「大丈夫かな」といった不安な気持ちは簡単にはなくなりません。このような状況にあっても、家族や友達、同僚とお互いに励まし合い、コロナとカラダのバランスをとりながら、徐々に自分に合った生活のリズムを取り戻したいものです。

大人が日常の行動に様々な制約を受け、悶々とした毎日を送っているのと同じように、子どもたちも「学校に行けない」、「友達と会えない」、「外で遊べない」といったこれまでの経験したことのない環境下で、大きなストレスを抱えながら毎日を送ってきました。6月1日に感染拡大

防止に配慮した学校生活が始まってひと月になりますが、一日も早く子どもたちが変化に適応し、落ち着いて学び、活動することができるよう、学びの環境を整えなければなりません。本市では、国の示す「GIGAスクール構想」に基づいた児童生徒1人1台パソコン配備を速やかに進め、学習環境の充実を図ってまいります。また、教職員や学校関係者が子どもたちの心や体調の変化を見落とさないよう細心の注意を払って学校運営を進めてまいります。

これから私たちは「新しい生活様式」とも向き合っていく必要があります。専門家会議の示した実践例は、既に定着しつつあるものや心がければ比較的簡単にできるものばかりです。たとえば、コロナ禍に陥るまではあまり気にすることのなかった「人との距離、間隔」ですが、できるだけ2mに近い距離をとることはそんなに難しいことはありません。また、外出の際や、屋内にいるとき

会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用する習慣も、我々の生活の中に既に定着してきています。このほかにも、みなさんひとりひとりが「どうしたら、感染を防ぐことができるか」を考え、行動してくださることで、早期終息、感染拡大の防止につながりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

オーストラリアポートマッコリーとの友好提携30周年記念

本来であれば、両市の交流が始まって30周年を記念して、4月と7月に相互訪問を予定していましたが、コロナ感染拡大のため残念ながら中止とすることにいたしました。ポートマッコリーはオーストラリアの南東に位置するニューサウスウェールズ州にある人口が約45,000人の豊かな自然に恵まれたリゾート地です。

この機会に、どんなまぢか、一度調べてみてください。



<https://jp.sydney.com/destinations/north-coast/port-macquarie-area>

